

再評価結果（令和2年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局 国道・技術課
担当課長名：奥村 康博

事業名	一般国道302号 <small>なごや</small> 名古屋環状2号線	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	自：愛知県名古屋市中川区富田町 至：愛知県名古屋市中川区富田町	延長	58.6 km		
事業概要	<p>一般国道302号名古屋環状2号線は、愛知県名古屋市中川区富田町から愛知県名古屋市中川区富田町に至る延長58.6km（海上部除く）の道路である。</p> <p>本事業は、環状道路及びその内側地域での交通渋滞の緩和を図るとともに、名古屋港に集まる物流の効率化の支援等を目的に計画された道路である。</p>				
S46年度事業化	S57年度都市計画決定	S46年度用地着手	S48年度工事着手		
全体事業費	5,769億円	事業進捗率 (平成31年3月末時点)	約94%	供用済延長	58.6km
計画交通量	32,000台/日				
費用対効果 分析結果	B/C <small>(事業全体)</small> 2.2 <small>(残事業)</small> 3.0	総費用 <small>(残事業)/<small>(事業全体)</small></small> 349/16,073億円 <small>(事業費：299/15,512億円)</small> <small>(維持管理費：50/562億円)</small>	総便益 <small>(残事業)/<small>(事業全体)</small></small> 1,054/35,058億円 <small>(走行時間短縮便益：936/32,258億円)</small> <small>(走行経費減少便益：105/2,577億円)</small> <small>(交通事故減少便益：13/223億円)</small>	基準年 令和元年	
感度分析の結果	<small>(事業全体)</small> 交通量 : B/C=2.0~2.4(交通量 ±10%) <small>(残事業)</small> 交通量 : B/C=2.7~3.3(交通量 ±10%) 事業費 : B/C=2.2~2.2(事業費 ±10%) 事業費 : B/C=2.8~3.3(事業費 ±10%) 事業期間 : B/C=2.2~2.2(事業期間±20%) 事業期間 : B/C=2.8~3.2(事業期間±20%)				
事業の効果等	<p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道等の年間渋滞損失時間の削減が見込まれる。 ・現道における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上以上の踏切道（甚目寺6号、新清洲7号、喜多山2号）の除却が見込まれる。 ・バス路線の利便性向上が見込まれる。 <p>②物流効率化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際拠点港湾（名古屋港）へのアクセス向上が見込まれる。 <p>③都市の再生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市再生プロジェクト（第2次決定、平成13年8月28日 大都市圏における環状道路体系の整備）を支援する。 ・広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路（広域道路）を形成する。 ・区画整理（茶屋新田土地区画整理事業、松河戸地区土地区画整理事業）と連携する。 <p>④個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要な観光地（農業文化園・戸田川緑地）へのアクセス向上が見込まれる。 <p>⑤無電柱化による美しい町並みの形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般国道302号全線が無電柱化の対象となっている。 <p>⑥災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛知県地域防災計画における、第1次緊急輸送道路として位置づけられている。 ・緊急輸送道路（名古屋第二環状自動車道）が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する。 <p>⑦地球環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量の削減が見込まれる。 <p>⑧生活環境の改善・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NO2排出量の削減が見込まれる。 ・SPM排出量の削減が見込まれる。 				

